

どうぶつの赤ちゃん①

名まえ

(

○上の文しようを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

ライオンの 赤ちゃんは、生まれた

ときは、子ねこぐらいの 大きさです。

目や耳は、とじた ままです。ライオンは、

どうぶつの 王さまと いわれます。

けれども、赤ちゃんは、よわよわしくて、

おかあさんに あまり にて いません。

ライオンの 赤ちゃんは、じぶんでは

あるく ことが できません。よそへ

いく ときは、おかあさんに、口に くわ

えて はこんで もらうのです。

ライオンの 赤ちゃんは、生まれて

二か月ぐらいは おちちだけ のんで

いますが、やがて、おかあさんの とった

えものを たべはじめます。一年ぐらいた

つと、おかあさんや なかまが するのを

見て、えものの とりかたを おぼえま

す。そして、じぶんで つかまえて たべ

るようになりす。

光村図書「どうぶつの赤ちゃん」より

一、ライオンの赤ちゃんは、生まれた

ばかりのときは、どんなようすを

して いるのでしよう。

・ () ぐらいの大きさ

・ 目や耳は、 () ()

・ おかあさんに

() ()

二、ライオンの赤ちゃんは、どのようにして、大きくなっていくのでしよう。

・ じぶんでは () () が

できません。

・ 生まれて () () は お

ちちだけ のんで います

・ () () たつと、おかあさ

んや なかまが するのを見て、

() () をおぼえます。

三、ライオンの 赤ちゃんに ついて、
おもった ことを かきましよう。

Blank writing area with dashed lines.

どうぶつの赤ちゃん②

名まえ

(

○上の文しよを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

しまうまの 赤ちゃんは、生まれた
ときに、もう やぎぐらいの 大きさが

あります。目は あいて いて、耳も ぴ
んと たって います。しまの もようも
ついていて、おかあさんにそっくりです。

しまうまの 赤ちゃんは、生まれて
三十ぶんも たたない うちに、じぶんで
たち上がります。そして、つぎの 日には、
はしるようになります。だから、つよい
どうぶつに おそわれても、おかあさんや
なかまと いっしょに にげる ことが
できるのです。

しまうまの 赤ちゃんが、おかあさんの
おちちだけ のんで いるのは、たった
七日ぐらいの あいだです。その あと
は、おちちも のみますが、じぶんで 草
も たべるように なります。

光村図書「どうぶつの赤ちゃん」より

一、しまうまの赤ちゃんは、生まれた
ばかりのときは、どんなようすを
して いるのでしよう。

・もう () ぐらいの大きさ

・目は ()、

耳も ()

・おかあさんに ()

二、しまうまの赤ちゃんは、どのよう
にして、大きくなっていくのでしよう。

・生まれて () もたたない

うちに、じぶんで ()

そして、() には、はしるよう
になります。

・おちちだけ のんでいるのは、たった
() のあいだです。

・その あとは、おちちのみますが、
じぶんで ()

三、しまうまの 赤ちゃんに ついて、
おもった ことを かきましよう。

どうぶつの赤ちゃん③

名まえ

()

○上の文しよを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

一、カンガルーの赤ちゃんは、生まれたばかりのときは、どんなようすをして いるのでしよう。

・ () () ぐらのおもさ

・ 目も耳も、どこにあるのか、

() ()

・ はっきりわかるのは、

() () だけです。

二、カンガルーの赤ちゃんは、どのようにして、大きくなっていくのでしよう。

・ () () で、おなかのふくろにはいります。

・ () () で、おかあさんのおちちを のんで 大きく なります。

・ () () たつと、ふくろのそとに出て、じぶんで

() ()

三、カンガルーの赤ちゃんについて、おもった ことを かきましよう。

カンガルーの 赤ちゃんは、生まれたときは、たいへん 小さくて、一円玉ぐらいの おもさです。目も 耳も、どこにあるのか、まだ よく わかりません。はっきり わかるのは、口と まえあしだけです。

それでも、この 赤ちゃんは、小さなまえあしで、おかあさんの おなかにはい上がって いきます。そして、じぶんのかで、おなかの ふくろにはいります。カンガルーの赤ちゃんは、小さくても、おかあさんの おなかの ふくろに 生まれて あんぜんなのです。

カンガルーの 赤ちゃんは、ふくろの中で、おかあさんの おちちを のんで大きく なります。そうして、六か月ほどたつと、ふくろの そとに 出て、じぶんで 草も たべるようになります。

光村図書「くらべて よもう」より

どうぶつの赤ちゃん④ 名まえ)

(

○プリントの ①②③を 見ながら かんがえましょう。

一、ライオン、しまうま、カンガルーの 中で、どの 赤ちゃんが すごいと おもいますか。

ぼくは、

の赤ちゃんが すごいと おもいます。

わたしは、

二、すごいと おもう りゆうを かきましよう。

どうしてかというと、

からです。

三、カンガルーの 赤ちゃんは、ライオンと しまうま、どちらの 赤ちゃんに いるとおもいますか。

ぼくは、

の赤ちゃんに いるとおもいます。

わたしは、

四、にていると おもう りゆうを かきましよう。

どうしてかというと、

からです。

一、□にあてはまる かん字をかきま
しょう。

①

	あか
	ちゃん

②

	う
	まれる。

③

	みみ
	や
	くち

④

	いち
	ねん
	せい

⑤

	くさ
	をとる。

⑥

	みぎ
	あし

⑦

	も
	じ

をかく。

二、□()にあてはまる ことばを
から えらんで かきましよう。

①口に ()。

② ()をとる。

③ () 七日の あいだ

④三十ふんも ()うちに

たった くわえる えもの たたない

三、つぎの 文しようには、かん字の
まちがいが、六かしよあります。まち
がっている かん字に △をつけて、
正しい かん字を かきましよう。

・ 字校の すなばで、きれいな右
を 貝つけました。

・ きようは、草おきをして、さん
ぽに 山かけました。いえに 人っ
て から手を あらいました。
